

館報



8月号

やまがた

No. 748

平成30年



農業士

中村 優太さん(上大池)

早朝、朝日を浴びながらスイカの収穫に励む優太さん。

東京でコンピュータ関係の会社に勤めていたが、4年前にUターンし、両親が営む農業の職に就いた。昨年より長野県認定農業士となり、農業への熱意も本物だ。

「会社勤めをしている時は組織の一員として頑張ってきたけど、農業は頑張れば頑張っただけ報われるから、やりがいがある」と、額の汗をぬぐいながら笑顔で語ってくれた。(8月4日 スイカ畑にて)

働く姿

告知板

◆今後の行事日程（一部抜粋）◆

9月22日(土) 山形小学校運動会
 9月27日(木)・28日(金) 鉢盛中学校白峰祭
 10月3日(水) 山形保育園運動会
 10月14日(日) 第70回村民運動会
 11月3日(土)・4日(日) 第68回総合文化祭

◆鉢盛中学校PTA

資源物回収のお知らせ◆

日 時 9月8日(土) 午前7時～
 回収物 アルミ缶、ビール瓶、ビールケース
 回収場所 役員と生徒が回収します。午前7時までには自宅の玄関に出すか、役場東側駐車場までお持ちください。

夏の交通安全運動

7月22日(日)から10日間、夏の交通安全やまびこ運動が行われました。23日(月)朝の通勤時間帯に警察署員や村の交通安全協会役員が記念碑交差点に立ち、夏休みに入り観光客などで交通量が増える時期の安全運転について、ドライバーに声掛けを行いました。

上大池ふれあいDAY
食べて遊んで地域の絆

8月5日(日)、上大池コミュニティセンターにて「上大池ふれあいDAY」が開催されました。魚のつかみ取りや流しそうめん、紙芝居やクイズ、ハーバリウム製作体験などが行われ、参加した子どもたちも楽しそうに盛りだくさんに参加していました。



【弓道】籠田真輝くん



全国高等学校総合体育大会
 第63回全国高等学校弓道大会
 出場【静岡・各弓道場にて】

【柔道】百瀬玲実さん



全国高等学校総合体育大会
 第67回全国高等学校柔道大会出場
 出場【三重・津サオリーナにて】

【空手】竹野穂乃花さん



第18回全日本少年少女空手道選手権大会出場【東京・武道館にて】

若獅子たちの
熱い夏！
その活躍に
どうぞ期待！！

【バドミントン】上條楓果さん



全国高等学校定時制通信制体育大会
 第20回バドミントン大会出場
 出場【神奈川・小田原アリーナにて】

【陸上】因幡真桜さん



“日清食品カップ”第34回全国小学生陸上競技交流大会出場
 出場【神奈川・日産スタジアムにて】

【リトルシニア】安曇野南リトルシニアチーム



朝比奈大翼さん 小山大稀さん 中川元樹さん 百瀬将斗さん
 第7回日本リトルシニア東日本選抜野球大会出場【福島・各野球場にて】

山すそ

今年の夏は暑かった。「○○市で気温40度越え」「熱中症で○人搬送」という報道は連日、在日インド人が「カレーなんか食べたくない、そうめんが食べたい」と言っているそうだし▼私はアフリカで2年間暮らした経験があるので「アフリカと日本どっちが暑い？」とよく聞かれる。私のいた所はほぼ赤道直下で暑かったけれど、40度以上になる日なんかなかった。今年の日本はアフリカよりも暑いのだ！▼そういえば、アフリカでは熱中症になったという人を聞いたことがなかった。いったい何が違うのか。暑さのエキスパートたちのとっておきの秘策をお教えしよう▼それは：無理をしないこと！暑い日中は涼しい木陰で休む。仕事や間に合わなくても無理して終わらせない。待ち合わせの時間になってもまだ暑かったら遅刻していく。みんながそうだからお互いに責めない。だからイライラしないし幸せ。それくらい余裕が私たちにあってもいいのではないか。

山つこ情報局

酷暑のなかでも子どもたちは元気です。

～山つこたちの夏まつり～

下大池 7/28



▲お腹すいたな～
◀怖っ!!

下竹田 7/28



▲もう少し右～
◀綺麗な水風船に夢中

中大池 7/29



▲よく狙って…



▲上手くすくえるかな

小坂 8/4



▲当たるかな…



▲カレー多めで!!

▼恐怖の肝試し



上大池 8/4



▲ビンゴで景品ゲット!



▲千本つり作成中



▲ポップコーン大行列

上竹田 7/21

今年は明治150年

平成30年は明治元年から数えて150年となり、全国で関連の事業が実施されています。山形村では、明治期に建設された竹田の人たちの米作りに多大な恩恵をもたらした黒川堰にスポットを当てます。

7月27日(金)、第一回実行委員会がトレーニングセンターにて開かれ、黒川堰についての記録映像を制作することと、堰建設時のエピソードについて描いた「三郎平の心」という演劇を上演することが決ま

スポ団環境整備

8月4日(土)、トレーニングセンターにて村内スポーツ団体合同の環境整備が行われました。各団体の代表者が、体育館、グラウンド、ふれあいドームの周辺を見て回り、約1時間で燃えるゴミと金属片・空き缶類を集めました。スポーツ関連施設は多くの人がお世話になっています。普段から一人ひとりが気を付け、皆が気持ちよく使える状態にしたいものです。



りました。

実行委員長の小山茂喜教授(信州大学)は、「今回の事業

が村民の村への帰属感を強めるきっかけになれ



暑さに負けず盆野球

8月15日(水)、トレーニングセンターグラウンドにて、毎年恒例のオールドスター野球大会が開催されました。今年は第32回目となり、往年の名(迷?)選手たちが、「身体は動かないが、気持ちは若いはず」と必死にボールを追っていました。優勝は上大池、準優勝は下大池でした。



第34回夏祭り 山形じゃんずる

踊り明かそか村祭り

形キヨミズ連



山形JVC連



少年柔道 克己塾連



山形村 少年剣道クラブ連



J A 松本ハイランド山形支所連



上大池分館連



中大池分館連



分館連



いづち 故郷 夢がある



なかなか見られない仕事場

今年は暑い！
今年も熱い！！

揃って手拍子若衆の太鼓



還暦を祝う会



翌日のゴミ拾い



山形少年サッカークラブ連



山形村子ども会育成会ジュニアリーダー連



松本山雅FC フォルツァ山形連



下竹田分館連



清水クラブ連



下大池分館連



小坂分館

いいじゃん みんなで輪になって

清水高原 アートフェスティバル



第7回清水高原アートフェスティバルが8月5日(日)から開催され、参加した別荘6軒の方たちは「Artで楽しむ」をテーマにギャラリ、ワークショップなど行いました。今年5日の石本弾サマーコース(スカイランドきよみず)泊まり込こみでレッスンでは、受講生によるコンサートバスの発表会の音色からはじまりました。

7日(火)はスカイランドきよみずにて、石本弾さんが副代表を務めるショコラ・ヴィルトオーゾ・ジャパンによるロ

ビーコンサートが開催され、ヴァイオリン、コントラバス、ホルン、アルプホルン、ピアノの迫力と心地よさのある演奏に鑑賞された方々は聞き惚れていました。生で聴く音楽はやはり良いですね。来年も開催される予定です。



ピアやまがた夏まつり

7月21日(土)、ピアやまがたにて夏祭りが開催されました。玄関前の広場では地域ボランティアの皆さんが屋台で焼き鳥、焼きそば、五平もちなどを作り振るまつていました。入所されている方はバーリンアートなどを身に付け、お祭り気分を味わい、訪れた人たちとともに楽しいひとときを過ごしました。



活き生き大学・夏の料理

7月24日(火)、トレーニングセンター調理室にて公民館・活き生き大学の夏の料理教室が行われました。保健福祉課から高山栄養士を講師に招き、夏でもサッパリと食べることのできる冷やし中華風つけ麺やスイカを使ったデザートを教わりました。



おめでた(子・親)

(敬称略)

鬼頭寿旭^{ジュキヤ}・準・下竹田
中川 暖彩^{ノア}・裕介・上竹田
舞

和(わ)、輪(わ)、笑(わ)らいいっぱい!

7月31日(火)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて児童館が企画した鑑賞会が開催されました。「オペレッタ劇団ともしび」によるむかしこばなしやオペレッタ「きつねの水あめ」の上演で、集まった大勢の子どもからは笑いが巻き起こっていました。



矢口 鈴^{スズ}・亨^{コウ}・下竹田
北村 航^{コウ}・陽^{ヨウ}・上大池
佳奈

おくやみ

百瀬節次郎^{フサジロウ}・95歳・上竹田
小口 忠尚^{チナウ}・80歳・上竹田
光間 輝男^{ヒロオ}・73歳・小坂
百瀬 照平^{テラヘイ}・85歳・下竹田

今夏の熱中症は 災害レベル!?

「命の危険があるような暑さ」「一つの災害と認識している」7月23日(月)に会見を開いた気象庁気候情報課の竹川元章予報官はそう話した。

平成19年から気温が35度以上の日は「猛暑日」と呼ばれるようになったが、今夏はさらに気温が上がり、40度を超える地域も出てきた。確かにこの暑さは、自然災害レベルである。

この厳しい暑さで熱中症搬送者数は統計開始以来最悪のペースで増え続けています。後を絶たない熱中症の被害は、天災だけではなく「人災」の側面もあるのではないかととも言われています。環境省の基準では、気温31度から35度で激しい運動は中止とされています。この暑さでプールが中止になった学校もあつたり、新潟県加茂市は長期休暇中の運動部活動を原則休止する方針を発表しました。これは、3月のスポーツ庁の中学の運動部に関するガイドライン策定を受けた対応で、「人災」に

I 度 (軽症) 意識障害なし。 発汗するが、 平熱である。	☐ めまい ☐ 立ちくらみ ☐ 手足のしびれ ☐ 足がつる筋肉痛 ☐ 気分の不快感
II 度 (中等症) 意識障害なし。 発汗し、体温が 40度未満まで上 昇。	☐ 頭痛 ☐ 吐き気や嘔吐 ☐ だるさ ☐ 疲れ ☐ 胃腸炎に似た症状
III 度 (重症) 意識障害あり。 発汗が止まり、 体温が異常に上 昇する。	上の症状に加え以下が発症 ☐ けいれん ☐ 呼びかけへの異常反応 ☐ まっすぐ歩けない ☐ 腎臓、肝臓障害

⇩ III度なら救急車を呼んでください。

すぐに分かる危険な症状は、異常な高体温、意識障害、けいれんなど。なお、ぐったりした状態なら救急車を呼んだ方が賢明です。場合によっては入院（集中）治療も必要になってくるので、速やかに救急要請しましょう。また、救急車が来るまでの間、右記の応急処置も重要です。



老若男女を問わず、熱中症予防を心掛け、自分自身だけでなく、周囲の人にも気を配り、無理せず（させず）、過ごす必要があります。なにより「命」こそが一番大切だと伝えたいです。

ならないように努力している学校も見受けられます。一方で、指導者が適宜水分補給させているから大丈夫だということもありますが、「命の危険がある暑さ」に水分補給だけでは熱中症予防にはならないし、十分な休憩時間を取らない指導者も多いといえます。十分な休憩と水分補給をすることで、ちゃんとした熱中症予防になるのです。しかし、一番は加茂市のよ

うに部活動の休止ではないでしょうか？ 危険だと分かっているのに外で活動する（させる）。閉め切った体育館や部屋で活動する（させる）。全国的に見ても、死者も多数出ているし、命が助かっても後遺症に苦しめられている人がいることも忘れてはなりません。生命よりも大切な運動とは一体何なのでしょう。今一度熱中症の恐ろしさを考えて行動してもらいたいものです。

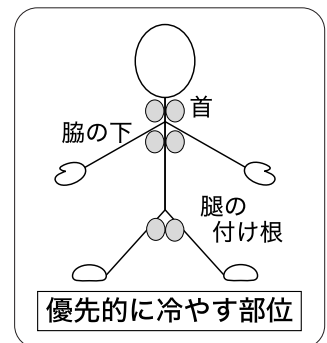
“人災”は未然に防げるのです。

応急処置

救急車を呼んでも、場所によってはすぐに来ることができない場合もあります。

少しでも症状を和らげるために以下の処置を施しましょう。

- ①クーラー等のある部屋に移動させ、仰向けに寝かせましょう。
- ②衣服をゆるめ、保冷剤や冷たいペットボトル等で太い血管のある部位を冷やしましょう。肌に水を掛けたりすることも効果的です。
- ③脱水症状がメインになるため、塩分、糖分の含まれた経口補水液を摂取させましょう。ただし、嘔吐や意識レベルが低い場合には、控えてください。



8/14(火)
ミラ・フード館にて

ご成人おめでとうございます

平成10年・11年生まれ
男性48名・女性42名
うち58名が参加



出
会
い
は
楽
し
い



山川 栞さん 下大池 (ふたご座)

成人式で PART I

青春劇場



高山 拓海さん 下竹田 (おうし座)

演
劇
一
筋

将来は医療職・リハビリ職に就きたいということでこの人間観察で培った観察眼が患者さんや利用者さんへの細やかな配慮につながっていくことでしょう。

進学で県外に出たことで、いろんな人がいることに興味湧いてきたとのこと。今ではより多くの人と出会うのが楽しみになっているそうです。

神奈川県で保健福祉について学んでいる栞さん。成人式の日になさわしく「立派な大人になる!!」と宣言してくれました。

休日は電車に乗って知らない場所に行くことが多いそうで、豊かな感性を磨くのに一役買っているようです。

埼玉県で演劇に関すること勉強している拓海さんは、演出家になり、岸田國士戯曲賞を受賞するのが夢だそうです。